

国立健康・栄養研究所

(大阪への全部移転の現状と今後への期待)

令和5年3月17日(金)

大阪府商工労働部 成長産業振興室 ライフサイエンス産業課

国立健康・栄養研究所の移転にかかる経緯

- ・H27年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、府が国立健康・栄養研究所の大阪への移転を提案
- ・H28年度 「国立健康・栄養研究所の大阪府への移転に関する方針」
取りまとめ（H29.3.31 厚労省、NIBIOHN、大阪府）
- ・H29年度 「健栄研の北大阪健康医療都市への移転に伴い増加が見込まれる運営上の負担への対応に関する方針」
（H30.1.31 厚労省、NIBIOHN、大阪府）
→府は、健栄研が産学官連携の拠点となるために必要となる下記の支援を行うことを決定
 - ①設備等の費用に対する補助
 - ②委託等連携事業の実施
 - ③人的支援

・R4年度末 健栄研の移転・オープン

国立健康・栄養研究所の健都移転に関する対応策について

大阪府

① 移転に伴う健栄研の設備等の費用に対する補助

■ 研究所補助金として、設備等の費用に係る経費を支援

- ・対象経費：移転に伴い導入する設備等に係る費用
- ・補助額：対象経費の50%(限度額2億円(補助期間中合計))

② 健栄研に対する人的支援

- 産学官連携事業の遂行や円滑な移転について支援

③ 健栄研への委託等連携事業の実施

- 連携事業等を通じて、研究成果の社会実装を支援

吹田市

① アライアンス棟整備・運営事業者に対する土地貸付料の減額

- ・減額分：約1,000万円/年（土地貸付料の2分の1）
- ・減額期間：30年間を限度

摂津市

① 移転に伴う健栄研の設備等の費用に対する補助

- 研究所補助金として、設備等の費用に係る経費を支援
- ・対象経費：移転に伴い導入する設備等に係る費用

② 健栄研に対する人的支援

- 連携事業等に関する企画・調整業務等について支援

※その他アライアンス棟整備・運営事業者に対する、成長特区税制（不動産取得税の減免）（大阪府）、固定資産税納税額の1/2相当額の奨励金（摂津市）の制度がある。

地元自治体：それぞれ約3億円相当の支援を実施

国・法人：健栄研の建物賃借料を負担（賃借料上限 入居後5年間：1.65億円/年 6年目以降：2.03億円/年）

大阪の再生・成長に向けた新戦略 - 健康医療関連産業のリーディング産業化 -

大阪の成長戦略
(2018年3月改訂版)

健康・医療関連産業の
世界的なクラスター形成

大阪の再生・成長に向けた新戦略
(2020年12月策定)

健康・医療関連産業のリーディング産業化
健康・医療関連産業の世界的なクラスター形成

府政運営の基本方針2023

万博をインパクトにした新たな価値の
創造・未来への投資
ライフサイエンスやカーボンニュートラルなど成
長をけん引する産業の創出、イノベーション
の促進

具体的な取組み集

(1) 健康・医療関連産業のリーディング産業化

①

健康・医療関連産業の成長促進

健康・医療関連産業のリーディング産業化

フェーズ	ウィズコロナ (緊急対策期)	ウィズコロナ (反転攻勢準備期)	ポストコロナ (反転攻勢期)
取組みの 方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ライフサイエンス分野での大学・研究機関、産業の集積などの強みを活かし、国の取組みも連動させながら、健康・医療関連産業の世界的クラスターの形成を推進するとともに、ライフサイエンス分野のスタートアップ育成などによりイノベーション創出を促進する。 ○健康・医療関連産業に対する海外からの人材や投資の取り込みをめざす。 		<ul style="list-style-type: none"> ○2024年春に開業予定の未来医療国際拠点を含めた府内3拠点の連携を推進するとともに、京阪神連携などより広域な連携を強化し、さらなるイノベーションの創出を図っていく。 ○万博も契機に、海外企業とのビジネスマッチングや海外クラスターとの関係を深化させ、海外から人材と投資を呼び込むグローバルバイオコミュニティの形成を推進する。
具体的な 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ◆彩都（創薬等）・健都（健康医療）・中之島（再生医療等）における拠点形成 ◆海外から人材や投資の呼び込みをめざす、グローバルバイオコミュニティの形成に向けた取組みの検討 ◆医療現場のニーズとものづくり中小企業の技術のマッチング 		<ul style="list-style-type: none"> ◆グローバルバイオコミュニティの形成を活かした、国内外からの投資の呼び込みや、産学医が連携したライフサイエンス分野のスタートアップエコシステムの構築

大阪府が推進するライフサイエンス拠点

健都 (吹田市、摂津市)

◆健康と医療

- ・国立循環器病研究センター
- ・NIBIOHN 国立健康・栄養研究所

彩都 (茨木市、箕面市)

◆創薬・ライフサイエンス

- ・大阪大学/同医学部附属病院
- ・NIBIOHN 医薬基盤研究所

中之島 (大阪市北区)

◆未来医療

- ・京都大学iPS細胞研究財団
- ・未来医療推進機構



北大阪健康医療都市（健都）の現状

- ▶ 医療クラスター形成会議（国循主催）において、『国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）』を形成する方向性が示され、合意（平成26年5月）
- ▶ 国循や健栄研・地元市などで構成する「健都クラスター推進協議会（事務局：府）」を通じ、健康・医療関連企業等の集積や、国立健康・栄養研究所の移転に関する取り組みなどを、関係機関が一体となって推進

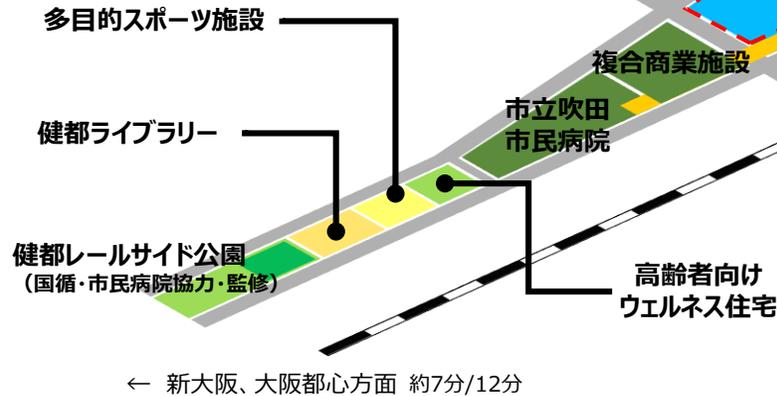
健都ゾーニング（約30ha）



国立循環器病研究センター
National Cerebral and Cardiovascular Center

国循主導で企業・大学等の研究者と共同研究を行う拠点としてオープンイノベーションラボ（OIL）も整備

令和元年7月オープン

エア・ウォーター(株)進出決定
（令和5年春開業）

ニプロ(株)進出決定
（令和5年夏開業）

健都イノベーションパーク

健康・医療関連企業等の研究開発機能を誘致
健都イノベーションパークNKビル（アライアンス棟）が整備され、国立健康・栄養研究所などが入居

京都方面 →
約24分

成長特区指定区域

健都イノベーションパークNKビル

令和4年3月竣工

レンタルラボ・オフィス棟を備えた民間賃貸施設



国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所
National Institute of Health and Nutrition

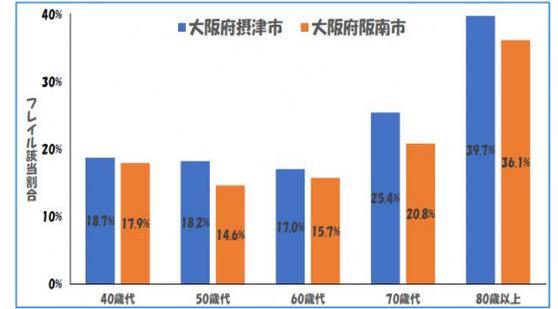
健都への移転決定
（NKビルへ入居予定）

健康・栄養・運動の研究をあわせ持つ
唯一の国立研究開発法人



健栄研移転にかかる府の取組み①

- ・H30年度から、本府健康づくり課と「働く世代からのフレイル予防」の取組みを開始
- ・取組みの一環で実施した府民のフレイル実態調査で得られた『高齢者だけでなく40・50歳代にもフレイル状態の人がいる』というエビデンスに基づき、取組みを推進



出典
論文雑誌：日本公衆衛生雑誌(2021年: 吉田著)
摂津市40歳以上10,000人の郵送調査(回収率58%)
大阪市40歳以上8,000人の郵送調査(回収率60%)
基本チェックリスト25項目中7項目以上該当をフレイルと判定

- ・これまで、市町村の既存事業への介入をはじめ、さまざまな資材を作成して啓発に努め、令和2年度には全国知事会先進政策バンク 健康福祉分野1位 優秀政策を受賞
- ・本府との取組みに関する論文が令和4年度公衆衛生学優秀論文賞を受賞
- ・R4年度からは地元の企業や保健所とも連携とし、従業員へのフレイル予防のモデル事業を開始



- ・今後は、研究所の移転を機に、地元自治体や企業、大学等と産官学連携により、これまで進めてきた取組みをさらに進め、データやエビデンスを蓄積するとともに、研究所の有する知見も活かしながら、更なる効果的な施策展開を図っていきたい



健栄研移転を契機とする府の取組み ②

- ・R5/2/10 「産学官イノベーションステージ」を開催
- ・主なプログラム

健都における医薬基盤・健康・栄養研究所の取組みの紹介
健栄研に健都関係企業と地元自治体を加えたパネルディスカッション
参加企業を対象としたネットワーキング



健都における国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所(NIBIOHN)の取組を紹介！

産学官イノベーションステージ

2/10(金)

15:00～17:35
ハイブリッド開催

＜定員＞
メイン会場：20名(※)
サブ会場：30名
オンライン：100名

主な内容、
イベントの
特徴

- 健都(大阪府吹田市・摂津市)に移転してくるNIBIOHNの国立健康・栄養研究所やAI健康・医薬研究センターの研究・取組を紹介します。
- パネルディスカッションでは、「期待されるメディカル・ヘルスケア研究」をテーマに、産学官それぞれの視点で議論を交わします。
- 講演やパネルディスカッションのほか、会場参加企業・関連機関を対象に、ネットワーキングの時間も用意しております。
是非、現地でご参加ください！

(※)メイン会場の定員(20名)を超えた場合は、サブ会場またはオンラインでの聴講のご案内となります。

参加
無料

＜メイン会場＞
健都イノベーションパークNKビル 1階
ク・ラスタラウンジ
(大阪府摂津市千里丘新町3番17号)
JR京東線「岸辺」駅から徒歩約8分
アクセスはこちら

＜サブ会場＞
健都イノベーションパークNKビル 5階
(サブ会場は大型モニターでの聴講となります。
サブ会場で聴講いただいた企業・関係機関も、
1階で実施するネットワーキングは参加いただけます。)

お申し込みはWEBで(申込締切：2月3日(金)午後5時)
【申込先】(PC, スマートフォンから)
<https://www.shinsei.pref.osaka.lg.jp/ers/input?tetudukiId=2022120047>

主催：大阪府、PMKイニシアティブ
共催：吹田市、摂津市
協力：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、大阪商工会議所、
兵庫県、公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団
お問合せ：大阪府ライフサイエンス産業課(担当：南、中谷内)
【メール】 life-science@shinsei.pref.osaka.lg.jp
【電話】 06-6115-8100
※会場ではマスクの着用をお願いいたします。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、完全事前申込制にて開催します。



健都でのイノベーション創出に向けた様々な取り組みの例

- ・産学官連携イベント「イノベーションステージ」の開催
- ・吹田市・摂津市による「健都ヘルスサポーター制度」の創設
- ・JST「共創の場形成支援プログラム（本格型）」の推進
「世界モデルとなる自律成長型人材・技術を育む総合健康産業都市拠点」



健都発の健康商品やサービス、国民健康増進の知見等の創出！！

府が期待する健栄研の移転効果

・国立循環器病研究センター、大阪大学等、ライフサイエンス分野の様々な研究機関と近接する大阪での立地環境等を活かし、共同研究や研究者間の交流等連携が促進し、健栄研の機能が向上

・健栄研と府内企業等との積極的な産学連携の推進



2025年大阪・関西万博も見据え、

① 健康・医療分野におけるイノベーション創出

② 府民の健康寿命の延伸等



「健康・医療」の拠点である健都のプレゼンス向上

ご清聴ありがとうございました

